

決算審査

総務部



実質単年度収支額について

- 問** 1億6,905万2,379円と赤字になった要因は。
- 答** 令和6年度は財政調整基金を3億3,100万円取り崩したため。

国庫補助金について

- 問** 2億円も減らされた要因は。
- 答** 非課税世帯等臨時特別給付金給付事業の執行残に伴うものであり、減らされたという性質のものではない。

基金の状況について

- 問** 財政調整基金を3億3,100万円取り崩したことに對する現状と今後の分析は。
- 答** 今後、人件費、扶助費及び物件費の増加が確実に見込まれる。想定される財源不足や突発的支出に對するともに、財政調整基金の適切な水準を維持し、財源の確保が重要。ネーミングライツの活用を始め、ふるさと納税施策の強化や公有財産の有効活用、施設の統廃合などを推進していく。

市広報等発行事業について

- 問** 広報編集の技術向上を目指して、今後「全国広報コンクール」に参加する考えはあるのか。
- 答** まずは愛知県への応募を検討していく。



▲広報やとみ

市税について

- 問** 個人市民税の減少の要因は。
- 答** 令和6年度に実施された定額減税の影響によるもの。
- 問** 純固定資産税、法人市民税の増加の要因は。
- 答** 純固定資産税の主な増加要因は、伊勢湾岸自動車道付近に物流施設等が完成したことなど。法人市民税については、業績の上昇や不動産売却による増益、企業の増収、製造業の事業開始など。

建設部



土地改良区運営補助金について

- 問** 補助金の配分内容は。
- 答** 弥富、鍋田、十四山の各土地改良区に年300万円を補助。

飲食店創業支援金について

- 問** 予算に対して実績は。
- 答** 20件分で1千万円を計上し、5件の実績。
- 問** 評価、分析、展望は。
- 答** 事業開始1年目であり、今以上に商工会と協力し周知に努める。

街路整備事業について

- 問** 3万3千円の予算に對し、除草はどの範囲で何回行っているか。
- 答** 市道穂波通線で約400平方メートルの除草剤散布を年2回。



▲市道穂波通線

民間木造住宅耐震改修補助事業について

- 問** 倒壊のおそれのあるブロック塀所有者に撤去の指導を行った事業は。
- 答** 毎年職員による個別訪問を地区ごとに実施し、撤去等を促し、補助金の案内をしている。

空家対策事業について

- 問** 空家委託調査の結果は。
- 答** 令和2年度からは75件の空き家が減少している。
- 問** 調査結果を基にどのような施策を講じたか。
- 答** 建物所有者に啓発し、相談があった場合には「愛知県宅建建物取引業協会」を案内している。
- 問** 新たな施策は。
- 答** 「空き家等実態調査」を基に所有者を特定し、空き家対策に関する資料等を送付する予定。

市街地整備事業について

- 問** 車新田土地区画整理事業調査業務委託の成果は。
- 答** 愛知県等関係機関協議資料の作成、発起人会や全体説明会の開催支援、事業化検討パートナーとの調整等を行った。
- 問** 今後の見通しは。
- 答** 建設事業費の高騰などで、事業を進めることは難しく、区域の縮小を検討すべきと事業化検討パートナーから提案があり、発起人会において地権者に理解を得た。
- 問** 弥富駅周辺地区基本構想作成業務委託の成果は。
- 答** 弥富駅周辺地区の基本構想図を作成。
- 問** 今後の見通しは。
- 答** 基本構想図を基に関係機関と協議を進めている。